

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 22日は、前線が本州の南岸から東シナ海へのびる。オホーツク海の高気圧が日本海へ張り出す。
- 23日は、前線を伴った低気圧が西日本付近へ進む。高気圧は千島近海へ南東に進む。
- 24日は、低気圧が日本海に進みそこからのびる前線が東日本から沖縄・奄美付近へのびる。
- 25日は、低気圧は北海道付近へ進む。高気圧が西日本付近に進む。
- 26日は、東シナ海から沖縄付近へ前線がのびる。

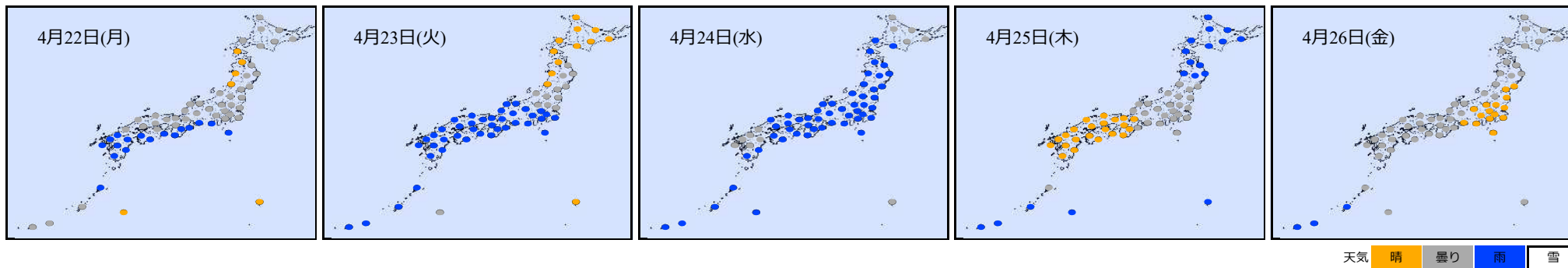
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 気温は平年より高い日が多く、かなり高くなる所もある。積雪の多い所ではなだれ等に注意。
- 令和6年能登半島地震で揺れの大きかった地方は地盤の緩んでいる所があり、少しの雨でも土砂災害の危険度が高まるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

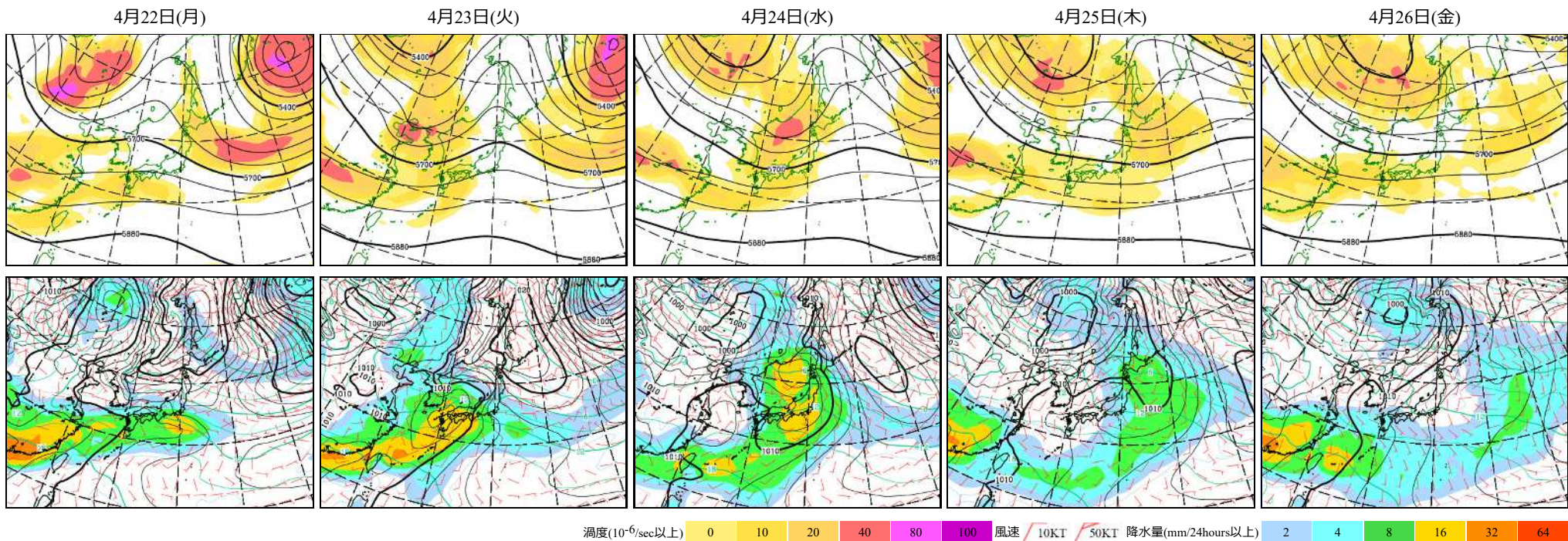
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

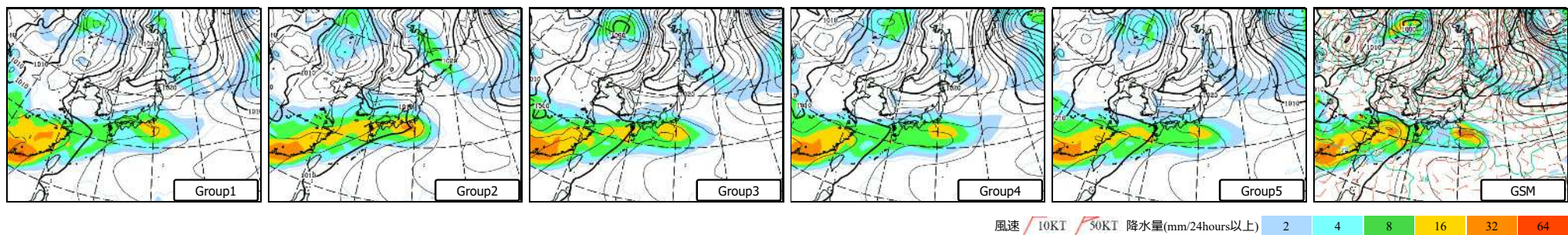


- 北日本では、23日はおおむね晴れるがその他の日は曇りや雨の日が多い。
- 東日本では、22日から25日にかけては曇りや雨となるが26日はおおむね晴れる。
- 西日本では、22日から24日にかけては曇りや雨となるが25日はおおむね晴れる。
- 沖縄・奄美では、曇りや雨の日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月22日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 22日は、本州南岸の前線が若干北上して降水域が西日本～東日本の沿岸に広がった。期間の後半はモデルのばらつきが大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。